

## アセチブリオ・セルロロリティカス由来のフェルラ酸エステラーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-1204

Lot. No. (See product label)

### はじめに

**説明** 酵素学において、フェルラ酸エステラーゼ (EC 3.1.1.73) は、次の化学反応を触媒する酵素です: フェルロイル-多糖 + H<sub>2</sub>O ⇌ フェルラート + 多糖。したがって、この酵素の二つの基質はフェルロイル-多糖とH<sub>2</sub>Oであり、二つの生成物はフェルラートと多糖です。この酵素は加水分解酵素のファミリーに属し、特にカルボン酸エステル結合に作用するものです。

**別名** フェルロイルエステラーゼ; フェルラ酸エステラーゼ (FAE); ヒドロキシシナモイルエステラーゼ; ヘミセルラーゼ付随酵素; シナモイルエステルヒドロラーゼ (cinnAE); EC 3.1.1.73; 4-ヒドロキシ-3-メトキシシナモイル-シュガーヒドロラーゼ

### 製品情報

|         |   |
|---------|---|
| 由来      | アセチブリオ・セルロロリティカス  |
| 形態      | 3.2 M 硫酸アンモニウムで供給されます   |
| EC番号    | EC 3.1.1.73   |
| CAS登録番号 | 134712-49-5   |
| 分子量     | 32631.3 Da  |
| 純度      | > SDS-PAGEによって判断された95%  |
| 活性      | 1.169 U/mg  |
| 濃度      | 9.486 U/mL  |
| 最適温度    | > 37°C  |
| 単位定義    | 1単位は、37°C、pH 6.5の50 mMリン酸ナトリウムバッファー中の0.187 mMメチルフェルラートから、1分あたり1μmolのフェルラ酸を放出するのに必要な酵素の量として定義され、335 nmで、モル消光係数14000 M <sup>-1</sup> cm <sup>-1</sup> を使用します。 |

### 保管・発送情報

**保存方法** 4°Cで保管してください (常温で発送されます)